

第24回全国中学生創造ものづくり教育フェア栃木県大会

「豊かな生活を創るアイデアバッグ」コンクール実施要項

1 目的

- (1) 「ものづくり」の発表を通して、知識や技能を習得し、活用することによりものをつくることや活用の喜びを味わう機会とする。
- (2) 技術・家庭科で習得した知識や技能を生かした被服作品等の設計、製作を通して、ものをつくる喜びや仲間と競技をする喜びを味わう機会とする。また、発表の場を通して、他校生徒との交流を図り、合わせて知識や技能の向上を図る機会とする。
- (3) 自分や家族の生活をより豊かにするために、個性や工夫を生かした製作の目的を明確にすることにより、製作や活用の喜びを味わう機会とする。
- (4) 製作を通して、ものを大切にすることの大切さや達成感、自分や家族の生活を豊かにすることの大切さを実感する機会とする。

2 主催

栃木県中学校教育研究会技術・家庭部会

3 日時

令和6年11月3日（日・祝） 8:00～

4 場所

さくら市立氏家中学校 被服室

5 参加資格

栃木県中学校に在籍する生徒で、校長が参加を認めたものとする。

6 競技方法

- (1) 地区予選課題の通過者を対象に、予選会（レポート審査）を行い、県フェアへの出場者を決定する。
- (2) 県フェアでの成績優秀者2名を、関東甲信越ブロック大会へ推薦する。
- (3) 課題については、以下のとおりとする。
「豊かな生活を創るアイデアバッグ」
- (4) 審査方法
ア 予選会 製作したバッグ・レポート
イ 本選（県フェア） 製作したバッグ・レポート・プレゼンテーション
・製作したバッグについて3分以内の発表を行う。その際、利用方法、自分や家族の生活を豊かにする視点「私にとってのものづくりの視点」「衣服の再利用の工夫の視点」から発表をする。
※ 実施要項などの書類関係は、全日中技・家HPの「第24回 全国中学生創造ものづくり教育フェア」サイト内「豊かな生活を創るアイデアバッグ」コンクールよりダウンロードし、使用する。

7 競技の課題および課題製作上の注意

- (1) 製作の規定に関しては、第24回全国中学生創造ものづくり教育フェアの実施要項に準ずる。
- (2) 課題はバッグ（ショルダーバッグ、トートバッグ、リュックサックなど）とする。
- (3) 使用する布について
・バッグ本体の全部または、一部に、家庭にある自分または家族の衣服を用いる。その他、衣服以外の布も加えてもよい。
- (4) デザイン及び機能について
・衣服の一部をそのままの形で一つ以上活用する。（ポケットの形状やボタンなど）
・バッグの口を閉じられるようにして中身が出ない工夫をする。
- (5) 縫製について
・入れるものに必要な強度が保たれるように、布目の方向や縫い目の大きさ及び縫い代の始末の仕方などを工夫する。
・バッグのいずれかの部分にまつり縫いを取り入れる。
・スナップは、必ず1つ以上付ける。
・3時間程度で製作できる作品とする。

(6) レポートについて

- ・レポートには、「テーマ」、「構想」、「自分や家族の生活を豊かにする視点」、「私にとってのものづくりの視点」と「衣服の再利用の工夫（どの部分をどのように活用するか）」その理由を明記すること。また、まつり縫い・スナップを取り入れた部分を明記すること（朱書きする）。
- ・解体前の全体像を、写真またはイラストで表す。

(7) プレゼンテーションについて

ア 時間は3分以内とする。

イ 方法は、全国大会の「Zoom」でできることを全て認める。

例) 画用紙、スケッチブック、模造紙、プレゼンテーションソフトを利用した資料等

ウ ICT機器を利用する場合は、会場に設置してあるものを利用することができる。会場には、液晶テレビとWindowsの学習用端末を用意してある。

エ 会場の学習用端末を利用する際は、プレゼンテーションのデータはPowerPointの形式で作成し、本選当日にUSBメモリ等のデバイスに入れて持参する。(会場に用意してある端末がWindowsのため)

なお、Chromebookの「Googleスライド」などで作成した場合には、PowerPointのデータに変換したものを持参すること。その際、事前に動作確認を行っておくこと。(アニメーション等の動作が乱れる可能性がある)

オ 生徒が使用している学習用端末を用いる場合には、以下のことに注意する。

(ア) 学習用端末の画面は小さいので、必ず会場の液晶テレビに接続して発表を行う。液晶テレビには通常のHDMIケーブルが接続されているので、このケーブルを利用して接続する。端末が直接接続できない場合は、各自で変換アダプターを用意して接続する。

(イ) インターネットへの接続が必要な場合は、各自で接続機器(モバイルルータ等)を用意し、接続環境を構築すること。なお、会場校のネットワークへは接続できない。

※全日中技・家HPの「第24回 全国中学生創造ものづくり教育フェア」サイト内「豊かな生活を創るアイデアバッグ」コンクールホームページを確認の上、条件に合致した作品を製作すること。1つでももれていた場合は審査の対象外とする。レポートも同様である。

8 審査

第24回全国中学生創造ものづくり教育フェア〈家庭分野〉栃木県予選会実行委員

9 募集期間

令和6年9月2日(月)～9月27日(金)

10 申し込み方法

地区ごとに代表者を決定し、担当者(フェア部員)が予選会に持参する。

・予選会

日時 令和6年10月1日(火) 14時～

会場 さくら市立氏家中学校

予選会を通過した生徒に関しては、応諾書をPDFファイル化し、申込書(Excelデータ)とともに担当者へメールで送付すること。その際、ファイル名を以下のルールに則して付けること。結果として、添付する2つのファイル名は同じとなる。また、送信の際、他校のメールとの混乱を避けるため、件名もしくは表題を「栃木県ものづくり教育フェア申し込み(〇〇学校)」として送信すること。なお、応諾書の原本に関しましては、フェア当日、受付に提出すること。

例) 表題: 栃木県ものづくり教育フェア申し込み(山前中学校)

添付ファイル名: 3_山前_真岡太郎.xlsx(申込書)、3_山前_真岡太郎.pdf(応諾書)

添付するファイル名(PDF・EXCEL共通)のルール

注: ファイル名中の「_」は、半角アンダーバーです。ご注意ください。

※先頭の「3(半角)」を忘れずに入れること。この数字でフェア事務局は部門を判断している。

11 表彰

「県教育長賞」「中教研技・家部会長賞」「審査員特別賞」「優秀賞」を設定し、表彰する。なお、地区大会を通過して予選会に参加した作品には、「優良賞」を送る。

※ 県教育長賞、県技・家部会長賞の受賞者2名を関東甲信越ブロック予選大会へ推薦する。

12 問い合わせ先 <バッグ部門>担当

宇都宮市立陽北中学校 星野 めぐみ

TEL 028-621-8491 FAX 028-650-4023

E-mail: yohoku-j@ueis.ed.jp